



都市というものは、しよせん人間が住み、生活し、働く場所なのです。まちづくりという大仕事は、人間関係をつくり出すものでなければなりません。経済学者の大内兵衛さんは二十年前にこんなことを云っておられます。「都市の価値は、その人口の大きさではない。そこにある建物の大きさでもない。私はそれよりも美しい公園、よく整った小学校の教室、人口に対して不足しない住宅、ノンモ渡れる道路、要するに、そこに住んでいる市民が、気持ちよく働けるかどうか。それが、市民としての、きわめて平凡な願

特別寄稿

水と柳の復活を

駒林 行弘 (駒林総合計画 研究所所長)

いを率直にいわれたのでしよう。今日、この願いはとじているでしょうか。また、アメリカの大統領ジョンソンさんは、かつて議会に送った教書のなかでこう述べています。「都市の建設、都市の計画には、地域社会の人間関係を大事にするという大きな目標が必要である。その目標のない都市づくりは、いくら立派でも、人間関係を不幸にする」わが国では、人間関係を大切にしたい都市計画があったらどうか。こんなことを思いながら、新潟市のまちづくりの目を移してみました。市になってもう九十年来ちまになり、人口も四十四万人と大きなまちになり、これらもどんと伸びるでしょう。しかし、夢は、やがて理想となり、そして現実になるのです。明日の新潟の夢を描いてみましょう。古町と駅前を繋ぎ大きな盛り場をつくらう。活気溢れるさわめきのなかに信濃川の静けさ。これらをつつぱりと包みこみ、しかも文化の香りのする盛り場にしたい。

川上野球教室や

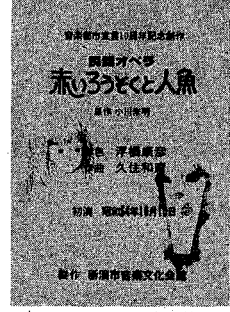
民話オペラ「赤いロソクと人魚」上演

市では市制九十周年を記念して、これから秋にかけて各種の記念行事(下表)を行います。まず、八月二十一日から二十三日まで、全市をあげて行われる新潟市の夏の風物詩「新潟まつり」を皮切りに、九月二日には、野球解説者川上哲治氏を招き「少年野球教室」を開きます。また、九月十日は、市体育館で、「市制九十周年記念式典」を行います。音楽関係では、市民の手による本格的な創作オペラ「赤いロソクと人魚」を上演します。その他各種の記念行事を行いますので、どうぞご期待ください。

区分	行事名	日時	会場	主な内容
式典	市制九十周年記念式典	9月10日 午前10時	体育館	●市役功労者に感謝状贈呈 ●秋田県立総合運動場(元オリンピック選手)を招待、トリムコース10km 参加選手約150人
スポーツ関係	市民マラソン	10月10日	陸上競技場	例年より多い市民レクリエーション参加選手約1,500人
	市民運動会	10月10日	陸上競技場	日本体育大学対政大大学招待試合
	バスケットボール合戦	9月10日	体育館	バスケットボール試合のハーフ・タイム演技 東京女子体育大学
	新体操演技	9月10日	体育館	川上哲治少年野球教室
音楽文化係	創作オペラ上演	10月10日	音楽文化会館	小川未明作「赤いロソクと人魚」
	明治の新潟展	9月中旬	郷土資料館	民具、絵巻、パネル等の展示
その他	苗木の無料配布	10月3日	庁舎地区事務所	さざんか3,000本配布
	全市大売り出し	10月1日~10日(予定)	全	商工会議所、商工会の協力を得て行う
	記念たばこの発売	9月10日	全	発売総額マイルドセブン、発売個数50万個
	新潟まつり	8月22~23日	全	記念うらわ及び山車による宣伝
	記念植樹	9月下旬	市立の幼稚園 小中高各学校	樹木未定



子供たちに人気のある 川上野球教室も開かれます。



10月10日上演される創作オペラ「赤いロソクと人魚」の台本

明治から現在 までの移り変わり

- おもなできごと
- 新潟県 安政仮条約により開港
 - 新潟運上開港(後に新潟税関と改称)
 - 新潟大火六、一七五戸焼失
 - 新潟県役所新築。現市役所位置
 - 万代橋初代起工。十一月開通
 - 新潟川開きが始まる。当時は橋架りと呼んだ
 - 新潟市制をしい、関原村を合併(新潟市制と改称)
 - 新潟市役所を合併(人口四三、九二一人)
 - 北越鉄道、沼垂と直江津間開通
 - 北越鉄道、沼垂停車場まで延長
 - 新潟、東京間全通
 - 万代橋二代目完成
 - 上水運竣工
 - 41年焼失の新潟市役所新築落成
 - 北越線及び越後線全線開通
 - 沼垂町を合併(人口九、一六〇四人)
 - 曾川切。沼垂方面一週間水中に没す
 - 馬越村と磯又村を合併(人口九、一四四人)
 - 大河津分水通水
 - 新潟市立白山総合運動場開
 - 新潟灯台を西防波堤先端に建設
 - 水久保の万代橋完成(三代目)
 - 昭和三十七年開通
 - 上越線開通
 - 市役所焼失。商工奨励館を仮庁舎
 - 零下9度僅僅川川と新潟運上開港
 - 市議会新築落成(新運街事務所)
 - 大形村、石山村、鳥屋村を合併(人口一、九一、六三二人)
 - 民選初代村田三郎市長就任
 - 川開まで万代橋、欄干が落し百余人死傷
 - 市で国民健康保険事業開始
 - 名譽市民に金津八、沢田敬義、荻野久作を推す
 - 新潟港重要港湾に指定される
 - 琴平橋開通
 - 白山駅完成
 - 市内電話、自動式になる
 - 健康保険新潟病院開業
 - 下水道工事着工
 - 松ヶ崎村、瀧川村、南浜村を合併(人口二二、〇〇二人)
 - この冬海岸欠陥甚しく社会問題となる
 - 市政だより全世帯配布を実施
 - 新潟大火九、二六戸焼失。市役所、新潟日報、大和、小林パートなど焼ける。市役所は公舎を仮庁舎とする
 - 地盤沈下が大々問題となる
 - 白新線全通
 - 西保線を設置
 - 市庁舎竣工
 - 北朝鮮帰還援護事務所設置、帰還第一次九七五名新潟港を出発
 - 内野町を合併(人口三、九八五人)
 - 赤塚、中野小屋村を合併(人口三、二六、三三八)
 - 八千代橋完成
 - 下越地区大雷
 - 西堀を埋め立て幹線道路とする
 - 第十九回国民体育大会開催
 - マクニチエリート七、五の新潟地獄
 - フスク両市と姉妹都市宣言
 - 阿賀野川下流域に水銀中毒患者発生
 - 新潟、ナホトカ開定期航路開港
 - 新潟港特定重要港湾に指定される
 - 開港百年復興記念記録新潟大博覧会を開催
 - 上越線全線複線化する
 - スポーツと音楽都市を宣言
 - 新潟東港開港
 - 閑屋分水通水
 - 新潟空港、ソ連ハロフスクとの定期航空開設(人口四万突破)
 - 阿賀野川緑地に総合スポーツ公園造りを開始
 - 園芸センター開園
 - 地下商店街西堀口サ完成
 - 音楽文化会館竣工
 - 駅南再開発事業のうち南北を結ぶ連絡路の都市計画決定
 - 流通センター建設事業に着手
 - 生活環境基準決まる(人口四四二、八九一人)